

令和4年次の教団方針および計画の立案にあたり

—今後の中期的な方向性—

理事長 國富敬二、理事一同

新型コロナウイルス禍二年目の令和3年は、ワクチン接種が始まる一方、変異株の蔓延など、先の見えない状況が続きました。このような大きな変化への対応は、「無常」の意味をかみ締める大切な時間となりました。

社会が一変する中、私たちは「立正佼成会の仏道修行とは何か」「“佼成”に込められた願いとは何か」を問い直しました。また対面が激減して、オンライン化が進む中で、人との触れ合いの見直しも迫られています。

こうした現状を踏まえ、令和4年次は新型コロナウイルスの感染状況を見据えつつ、教団運営、布教のあり方を引き続き検討いたします。

<これからの動き——中期的な方向性——>

本会がこれからも大切にしたいと考える3つの柱は次の通りです。

まず一つ目に、最も大事にしたいことは、一人ひとりが、「教えによって救われる喜びを真に実感できること」です。私たちが「教えによって救われる喜びを真に実感できる」のは、どのようなご縁に出会うときでしょう。

本会は創立以来、教えによって救われた喜びを人さまにも味わって頂きたい、幸せになって頂きたい、という開祖さまや脇祖さまの願いのもと、今日まで歩んでまいりました。これは、目の前の方とのご縁を大切に、菩薩行を実践してきた一人ひとりの積み重ねにほかなりません。

コロナ禍が象徴するように、社会状況は刻々と変化し、日々思いがけない出来事に直面します。このような中、自身の事をあとにして、人とかかわり続けるのは容易ではありません。

しかし、わが身を菩薩と信じ、自分らしい触れ合いによって、惜しみなく寄り添える私たちでありたいと、改めて強く願っています。

二つ目は、時代状況をふまえた「新たな運営のあり方の創造」です。令和3年は道場当番を「道場健幸行」とし、戒名当番は「戒名修行」となりました。今後は慣例的に行なってきたことの問い直し、また喫緊の課題である拠点（建物・設備）を含む各種インフラ整備に取り組めます。そして、日々の教会運営に加え、教団諸行事や本部参拝、教育などの見直しを創造的に進めてまいります。

三つ目は、「救いと運営に役立つツールの開発」です。これまでに式典の配信、ホームページの活用、理事会や評議員会のオンライン化などを行ない、教会でも SNS などを活用した新たなつながりが生まれています。一方で、インターネット環境が整わない方々が大勢いらっしゃることも事実です。

このような中、対面・電話・手紙・オンラインなど、手段や条件はさまざまでも、「その人の苦しみに近づけたか」「心をお救いできたか」という、真に大切な価値を見失わず、心でつながる私たちでありたいと願い、開発を進めてまいります。

<さらなる進化に向けて>

新型コロナウイルスの感染が収束し、活動が再開されても、「活動」を目的とするのではなく、教えを生きることによって、信仰を頂いている有り難さを日々実感し、救う喜び、救われる幸せを共に味わうサンガを目指しましょう。そして、教団創立の精神に立ち返りつつも新たな時代を創造する、“ニュー方便時代”を共に歩んでまいりましょう。このことが、「人材育成一人を植える」という創立百年へと向かう私たちの大事な務めであると信じています。

合 掌

令和4年次 品川教会の修行と運営のあり方について

昨年、教団本部より示された「教会における今後の修行と運営のあり方について」にもとづき、品川教会では支部長さん部長さん方と検討を行ない、下記のような段階と修行形態になりましたので、ご理解賜りますようよろしくお願い致します。

1. 教会道場における修行時間

(1) 大規模集会行事（教団行事、ご命日、各種行事）休止期間

時間： 9：00 ～ 14：00

* 一般会員の参拝はご供養後の10：30～14：00内の1時間以内とする。

* 緊急事態宣言中は、教会長・支部長・部長による護持体制で、午前中のみとなります。

(2) 大規模集会行事 開始以降（本部の決定を受けて）

時間： 8：00 ～ 14：00

* 法座も行われるため、ご供養は9：00からとなり参加できます。

2. 道場開館日

基本的に道場健幸行が行われる日（月に支部各2回、壮年部2回、青年部は不定期）の20日間前後とします。その日にちは、毎月の教会長日より、ライン「品川教会チャンネル」でお知らせします。

齊家の日はALSOKによる完全防犯システムを取り、完全閉鎖となります。しかし、活動を行ないたい支部・部は総務部長にご連絡頂き、支部長または部長の立会いのもと道場を使用することができます。

3. 道場健幸行について

(1) 目的

昨年、これ迄の道場当番のあり方を見直し、会長先生より「道場健幸行」とご命名頂きました。これは、中国易経の「健体康心」という言葉をもとに、「幸」の字をそこにあてて、以前よりも道場での修行の功德を実感して頂き、身心ともに健やかに幸せになれる行にしていきたい、との願いが込められています。

主に現在のところ下記のような内容ですが、皆さまのご意見を頂きながら、明るく楽しく有難い健幸行にしていきたいです。どうぞよろしくご意見致します。

(2) 内容

- ① 読経供養導師とお給仕（礼服着用）、脇導師（礼服に準じた服装）
- ② 受付（訪問者の対応や感染防止対策）
- ③ 放送
- ④ 道場参拝者の受け入れ
- ⑤ 読経供養（仏さまとの対話）
- ⑥ 映像「開祖さま常住此説法」の学び
- ⑦ 健康のための「ラジオ体操第一・第二」
- ⑧ 道場お清め行
- ⑨ 教会布教員による「教会法座」（大規模集会行事開始以降）
- ⑩ その他、各支部・各部 工夫して実施

4. 毎月のご命日のあり方

(1) 大規模集会行事 休止期間

教会では教会長、支部長、部長、道場健幸行参加者のみ参加。

開始時間： ご供養 午前 10:00 より

① 1日「朔日参り・布薩の日」 (本部・教会ユーチューブ配信にて)

(教会) ご供養 (四品、導師：教会長)、

(教会配信) 教会長倭成研鑽

(本部配信) 体験説法、会長先生ご法話

② 4日「開祖さまご命日」 現地布教日

各地区にて、現地訪問布教 (できればお供修行を行なう)

③ 10日「脇祖さまご命日」

ご供養 (四品、導師：支部長・部長)、

教会長オンライン大法座 (ズームにて)

④ 15日「釈迦牟尼仏ご命日、布薩の日」 (本部・教会ユーチューブ配信にて)

(教会) ご供養 (四品、導師：教会長)、

(教会配信) 教会長やくしん研鑽、

(本部配信) 体験説法、会長先生ご法話

⑤ 28日「お礼参り・感謝の日」

(教会) ご供養のみ (四品、導師：道場健幸行当番長)

⑥ 〇〇〇日「教団行事日」 (本部・教会ユーチューブ配信にて)

(教会) ご供養 (四品、導師：教会長)、

(教会配信) 教会長あいさつ

(本部配信) 体験説法、会長先生ご法話

(2) 大規模集会行事 開始以降 (本部の決定を受けて)

教会道場での式典に、会員さんが参加できるようになります。

また、ユーチューブでの配信も継続します。

開始時間： ご供養 午前 9:00 開式

① 1日「朔日参り・布薩の日」 (ユーチューブ配信と教会での式典)

(教会) ご供養 (四品、導師：教会長)、

(本部配信) 体験説法、会長先生ご法話

(教会配信) 教会長倭成研鑽、

(教会) 支部別法座

② 4日「開祖さまご命日」 現地布教日

各地区会員宅にて、ご供養 (二品、導師：支部長・主任)、

ペアを組んで、現地訪問布教 (お供修行)

③ 10日「脇祖さまご命日」 教会にて

ご供養 (四品、導師：支部長・部長)、

開祖さまご法話放映、

教会長大法座

④ 15日「釈迦牟尼仏ご命日、布薩の日」 (ユーチューブ配信と教会での式典)

(教会) ご供養 (四品、導師：教会長)、

(本部配信) 体験説法、会長先生ご法話

(教会配信) 教会長やくしん研鑽、

(教会) 支部別法座

⑤ 28日「お礼参り・感謝の日」 教会にて

ご供養（四品、導師：道場健幸行当番長）

功德の発表（一人3分、5人位）

月当番支部長かみしめ、あいさつ

⑥ 〇〇〇日「教団行事日」（ユーチューブ配信と教会での式典）

（本部配信） ご供養（導師：光祥さま）

体験説法、会長先生ご法話

（教会配信） 教会長あいさつ

（教会） 支部別法座

5. 戒名修行（旧戒名当番）について

戒名当番は、戒を生活の中で実践し、目に見えない世界の存在が信受され、その世界をも救う役を担っていると自覚し、仏さまに対する絶対的な信を培ってまいりました。そのような意味から、この度「戒名修行」として会長先生からご命名を頂き、先祖供養と密接につながり、幹部（教師資格者）としての重要な修行として、さらなる信心決定の場として大切にしていきたいと思います。

（1） 修行日について

もうすでに実施している教会もありますが、品川教会では令和4年3月からと致します。基本的に道場健幸行実施日に行ないます。

その確認、心がまえを作る日として、2月27日（日）午前10時～12時に

「教師教育」を行ないますので、教師の方はご参加ください。

（2） 戒名修行の時間

午前9時～午後2時とします。（道場健幸行と同じ）

6. 大聖堂での修行について

(1) 聖壇修行

東京西・東京東支教区 22 教会を対象として、令和 4 年 2 月 12 日からの再開を予定しています。但し、修行人数 7 名からの小規模での再開となり、時間も午前 8 時から 12 時までとなります。

詳しくは、組長さんから組員さん方にご連絡がありますのでお待ち下さい。

(2) 本部健幸行 (旧 聖堂当番)

本部健幸行についてはコロナウィルスの感染状況をふまえながら、内容や時間も含め、本部にて慎重に検討されておりますので、開始時期についてはまだ未定です。もうしばらくお待ち下さい。

(3) 本部参拝

令和 4 年も宿泊や団体行動を伴う本部参拝 (団体参拝) は実施せず、新たな形態、段階的な参拝の実施について本部で検討しています。

(4) 勧請式、教師授与式

勧請式、教師授与式は 3 年ぶりに実施します。但し、コロナ禍における勧請式、教師授与式は、大聖堂聖壇上で式典を行ない、拝受者は教会で参加する形態となります。申請締切日などの詳しい今後のスケジュールは、あらためてお知らせします。

勧請式： 令和 4 年 9 月 25 日 (日)

教師授与式： 令和 4 年 10 月 23 日 (日)